

福祉人材集中PR月間（SNSキャンペーンの実施） 1 / 2

- 画像生成ジェネレーターが、今年はいくつかの選択肢から「#なにゆえ私が福祉職」の後に続く言葉を選べるようになっていたり、背景も選べるのはとてもいいと思う。
- ジェネレーターやキャリアマップなど、前回よりもグレードアップして非常に良くなった。マップも、押して触りたくなるようなデザインでとても良い。
- ジェネレーター生成画像は、会社のコーポレートカラーを使用することや、ロゴと一緒に投稿すると、閲覧した方へのPRになると思うので有効と考える。
- 当事者やご家族は、福祉施設に感謝している方も多くいると思う。今回ポスターを作成したということで、いろいろな企業にお声かけする時に、「頼るのか」「応援するのか」といった、当事者ご家族の投稿を想定したキーワードが入ったチラシと一緒に説明すると、協力を得やすいのではないかと。
- 今年は予算の関係で難しいと思うが、今後、ホームページ上で、実際の投稿例などを集めて紹介する際に、「#なにゆえ私が福祉職」の後に続く言葉の種類ごとにソートして見れるような構成にできると良い。また、「推しの職員」を紹介する利用者様の声を集め紹介するページがあると面白い。
- 保育の分野でこのキャンペーンをどうやって広めるかについては、保護者への訴求力が重要になってくる。子供にとって本当にいいものなんだ、という評価をしてもらえれば、保護者への協力が得られやすくなると思う。SNS上のほか、例えば区民広場や公園の一角にワークショップなどのイベントを展開することで、キャンペーンの広がりが期待できるのではないかと。

第2回専門部会（普及啓発部会）での主な意見

福祉人材集中PR月間（SNSキャンペーンの実施） 2 / 2

- 「#なにゆえ私が福祉職」のあとに続く選択肢として、例えば保育士などの職種分野を選べるようにするのもいいと思う。
- 投稿にリポストや「いいね」をつけるだけでも、大きな広がりにつながるので、その呼びかけも行うと良いのでは。
- キャリアマップで、福祉の仕事に関する情報を拾いやすくカテゴリイズする見せ方が良いと思った。福祉の仕事は奥が深く、無関係の人にとっては本当に全く分からない世界なので、このように分かりやすいものがあると良い。
- 盛り上げの協力依頼に当たっては、福祉業界全体で盛り上げるとするならば、11月11日は「介護の日」ではあるが、児童分野も一緒に盛り上げようという声かけが良いのでは。
- 自治体ごとに、自治体内の連携の濃度に差はあるが、高齢・児童・障害それぞれの分野がお互いに声を掛け合うことで、横ぐしで連携が取れると思う。
- 今回、養成校の学生にもインタビューを行ったということで、ホームページ等の各コンテンツを外国人向けにも対応できたらなお良い。
- インフルエンサーによるPRは、年代も幅広く、バランスの取れた方に訴求ができると思う。
- 一斉投稿呼びかけを11月11日としている点、この日は他にも「〇〇の日」に設定されやすい。SNS上でも様々な投稿の中に埋もれてしまう可能性があるため、一斉投稿を別の日に設定することも検討して良いと思う。